

科目名 (Subject)	労務管理特論 <small>(英字表記)</small> Human Resource Management and Labor Relations		
単位数 (Credits)	2 単位	(開講時期)	前期
担当教員名 (Name)	金 鎔基 <small>(英字表記)</small> Yongki Kim	研究室番号 (Office)	519
Office Hours	随時 (ただしe-mailで予約を取る) (kim@res.otaru-uc.ac.jp)		
1. 授業目的・方法 (Course objective and method)			
<p>本授業では、まず人材管理の基本理論と、いわば日本的雇用慣行にかかわる主要な事実を総括したうえで、日本企業にとって近年のホットな課題とされるグローバル人材マネジメント (ビジネスのグローバル化に対応した人材マネジメント)、ダイバーシティ・マネジメント (エスニティやジェンダー、雇用形態などの多様化に対応した人材マネジメント) の現状と課題を分析的に検討する。具体的なテーマに沿って最新の研究成果を検討することによって、人的資源管理の関連理論に対する理解を深めるとともに、実証分析の多様な方法に馴染むことが目的である。</p>			
2. 授業内容 (Course contents)			
1	オリエンテーション		
	<u>予習課題</u>		<u>復習課題</u>
2	内部労働市場型のキャリア		
	<u>予習課題</u> 小池1～3章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
3	長期雇用と年功賃金		
	<u>予習課題</u> 小池4～6章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
4	中小企業労働者のキャリア		
	<u>予習課題</u> 小池7章、その他指定テキスト		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
5	女性雇用		
	<u>予習課題</u> 小池8章、その他指定テキスト		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
6	高齢者雇用		
	<u>予習課題</u> 小池9章、その他指定テキスト		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
7	海外の日本企業		
	<u>予習課題</u> 小池10章、その他指定テキスト		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
8	多国籍企業の内部労働市場		
	<u>予習課題</u> 白木の序章～2章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
9	グローバル人材マネジメントの国際比較 I		
	<u>予習課題</u> 白木3～4章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
10	グローバル人材マネジメントの国際比較 II		
	<u>予習課題</u> 白木5～終章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
11	現地化とグローバル統合		
	<u>予習課題</u> 古沢の序章～2章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
12	日系企業の現地化問題		
	<u>予習課題</u> 古沢3～5章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
13	グローバル人材マネジメントの国際比較 III		
	<u>予習課題</u> 古沢6章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
14	グローバル人材マネジメントの国際比較 IV		
	<u>予習課題</u> 古沢7章		<u>復習課題</u> クイズ答案作成
15	日本企業の留学生採用と人材管理		
	<u>予習課題</u> 指定テキスト		<u>復習課題</u> クイズ答案作成

### 3. 使用教材(Teaching materials)

小池和男『仕事の経済学』第3版(東洋経済新報社、2005年)  
古沢昌之『グローバル人的資源管理論』(白桃書房、2008年)  
白木三秀『国際人的資源管理の比較分析』(有斐閣、2006年)  
その他指定テキストについては、オリエンテーションのときに知らせる。

### 4. 成績評価の方法(Grading)

予習(事前にテキストを熟読し、下調べや論点整理を行うこと)をしっかりと行い、授業中の質疑や討論に積極的に参加すること。毎回の授業終了時に出されるクイズに対してしっかりと答案を作成すること。

評価の要素	ウェイト
出席率	10 %
授業への参加度(事例, 討論, 調査) ホームワーク(事前課題の提出)	50 %
小テストないしクイズ	40 %
試験ないしプレゼンテーション(最終課題)	0 %

### 5. 成績評価の基準(Grading Criteria)

秀(100~90): 個別文献の内容を十分理解するだけでなく、複数の文献を比較しつつ類似点と対立点を整理でき、さらに独自の批判や視点を加えられる。

優(89~80): 個別文献の内容を十分理解するだけでなく、複数の文献を比較しつつ類似点と対立点を整理できる。

良(79~70): 個別文献の内容を十分理解している。

可(69~60): 個別文献の主要内容を理解している。

不可(59~0): 個別文献の主要内容を理解していない。

### 6. 履修上の注意事項(Remarks)

履修学生数が少ない場合は、学生の研究関心を反映して授業内容を若干変更することもありうる。  
また学生が望む場合は、英文の文献を追加することもありうる。